

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **中央経済政策会議開催、習近平総書記が重要談話**：中央経済政策会議が11、12両日に北京で開催され、習近平中共中央総書記（国家主席、中央軍事委員会主席）が会議で重要談話を発表した。習総書記は重要談話の中で2024年の経済政策を総括し、現在の経済情勢を分析したうえで、2025年の経済政策の方針を打ち出した。会議では、「来年の経済政策を達成するには、『習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想』を指針とし、中国共産党第20回全国代表大会（第20回党大会）と中国共産党第20期中央委員会第2回全体会議（二中全会）及び第3回全体会議（三中全会）の精神を全面的に貫徹・実行し、『安定を維持しながら前進』という政策の総基調を堅持し、新たな発展理念を完全に正確かつ全面的に貫徹し、新たな発展構造の構築を加速し、質の高い発展を着実に推進し、さらに全面的に改革を深め、高水準の対外開放を拡大し、現代的産業システムを構築し、発展と安全をより良く統合的に計画し、より積極的で有為なマクロ政策を実施し、国内需要を拡大し、科学技術革新と産業革新の融合的発展を推進し、住宅市場と株式市場を落ち着かせ、重点分野におけるリスク及び外的な衝撃を防止・解消し、見通しを安定化させ、活力を引き出し、経済の持続的な回復・好転を後押しし、国民の生活水準を不断に高め、社会的調和・安定を維持し、第14次五カ年計画（2021～25年）の目標と任務を高い質で達成し、第15次五カ年計画（2025～29年）において良いスタートを切るための基礎を固める必要がある」との指摘が行われた。（12/13 新華社、人民網）
- **2025年の全国両会の開幕日が決定**：全国人民代表大会（全人代）常務委員会は25日の会議で、第14期全人代第3回会議を2025年3月5日から北京で開催するとの決定を採択した。また、中国人民政治協商会議第14期全国委員会（全国政協）はこのほど主席会議で、全国政協第14期第3回会議を2025年3月4日から北京で開催することを提議した。（12/25 新華社、人民網）
- **中央企業が1-11月、戦略的新興産業に2兆元を投資**：2024年には中央企業が戦略的新興産業と従来型産業という「両端の取り組み」に引き続き力を入れ、産業発展の新たな方向性を模索し、質の向上に努め、新型工業化を着実に推進していることが、国务院国有資産監督管理委員会が23-24日に開催した中央企業（中央政府直属の国有企業）責任者会議で明らかになった。さらに、中央企業の新興産業の事業展開ペースが加速した。データを見ると、1-11月に中央企業が行った戦略的新興産業への投資は前年同期比18.7%増の2兆元（1元は約21.6円）に達し、投資全体に占める割合が初めて40%を突破した。他方で、中央企業の従来型産業のトランスフォーメーションが新たな活力を得ている。24年に中央企業は大規模な設備更新を踏み込んで実施し、デジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させた。今年第1-3四半期（1-9月）には中央企業の生産高1万元あたりのエネルギー消費量は前年比2.7%、二酸化炭素（CO2）排出量は同3.9%とそれぞれ低下した。（12/25 人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- **中国11月のCPI、前年同期比0.2%上昇**：国家統計局のウェブサイトの情報によると、2024年11月には、全国の消費者物価指数（CPI）が前年同期比0.2%上昇。そのうち都市部は0.1%上昇、農村部

は0.2%上昇、食品価格は1.0%上昇、非食品価格は横ばい、消費財価格は横ばい、サービス価格は同0.4%上昇。1-11月の平均では、全国のCPIは同0.3%上昇。11月には、全国のCPIが前月比0.6%低下。そのうち都市部のCPIは同0.6%低下、農村部は同0.6%低下、食品価格は同2.7%低下、非食品価格は同0.1%低下、消費財価格は同0.7%低下、サービス価格は同0.3%低下。(12/10 人民網)

- **中国 1-11 月の新エネ車販売台数が自動車全体の 40%超に 市場の好調が続く**：中国自動車工業協会への11日の取材によると、今年1-11月には、中国の新エネルギー自動車の生産販売台数が前年同期比で30%以上増加し、自動車販売台数に占める新エネ車の割合が初めて40%を超えた。最新のデータを見ると、今年1-11月の中国の新エネ車生産台数は前年比34.6%増の1,134万5,000台、新エネ車販売台数は同35.6%増の1,126万2,000台となり、自動車販売台数に占める新エネ車の割合は40.3%に達した。(12/12 人民網)
- **中国 1-11 月の実行ベース外資導入額は 7497 億元**：中国商務部（省）が14日に発表したデータによると、今年1-11月には、全国の実行ベース（以下同）外資導入額が7,497億元（1元は約21.1円）に達した。11月の外資導入額は前年同期比6%増だった。データを見ると、1-11月には全国で新たに設立された外資系企業は同8.9%増の5万2,379社に上り、同期の過去最高水準となった。同期には外資導入の構造が最適化し続けた。ハイテク製造業の外資導入額の外資導入額全体に占める割合が同0.3ポイント上昇した。医療機器製造業の外資導入額は同53.4%増、コンピューター・オフィス設備製造業は同39.1%増、専門技術サービス業は同19%増だった。同期には投資元国がより多様化した。一部の先進エコノミーの対中投資が増加し続けた。たとえばドイツの対中投資は同10.9%増、シンガポールは同4.8%増、スイスは同4%増だった。ASEANの対中投資も同6.4%増となった。(12/16 人民網)
- **中国が 2023 年の GDP 速報値を 129 兆 4,000 億元に上方修正**：中国の国内総生産（GDP）算定制度と第5回全国経済センサスの結果に基づき、中国国家统计局はこのほど、2023年のGDP速報値を、当初より3兆4,000億元（1元は約21.6円）多い129兆4,000億元に上方修正した。(12/27 人民網)

【トピックス】

- 1、**外国人観光客の 9 割超「中国のモバイル決済の利便性が向上」**：中国のビザ（査証）免除措置の対象が広がり、中国を訪れる外国人観光客がますます増えている。北京外国語大学シルクロード研究院の課題チームは17日、111ヶ国からの観光客2,000人余りを対象に行った調査研究の報告書を発表した。それによると、回答した外国人観光客が中国旅行時に使用した決済サービスがより多様化し豊富になったという。クレジットカード、モバイル決済、現金をそれぞれ単独で使用した人もいれば、「クレジットカード+モバイル決済」、「クレジットカード+現金」、「モバイル決済+現金」の多様な組み合わせを使用した人もおり、さらには3種類の決済手段をすべて使用したという人もいて、中国での決済の利便性が全面的に向上していることが現れている。このうちモバイル決済サービスが外国人観光客に広く受け入れられており、以前に中国を訪れたことのある観光客の約91%が「中国ではモバイル決済の利便性がさらに向上した」と感じている。また同報告書によると、異なる国の若者がいずれもモバイル決済を使用することを好み、「90後（1990年代生まれ）」と「00後（2000年代生まれ）」の外国人観光客は中国において他の決済手段からモバイル決済へ切り替わる割合が高く、約90%に達した。これは、中国の決済の利便性向上により中国と海外の決済習慣による違いが小さくなっていることを示している。(12/18 人民網)

2、最新の世界ブランド 500 首位はアップル、中国から 50 ブランド：ブランド業界で定評のある機関が作成した最新の「世界ブランド 500」ランキングが 12 日、米国・ニューヨークで発表された。首位にはアップル、2 位にはマイクロソフト、3 位にはアマゾンが選ばれた。中国からは 50 ブランドがランク入りし、国別で 3 位となった。今回は計 32 ヶ国のブランドが選ばれた。国別のトップは前回に続いて米国で、187 ブランドが選出された。2 位はフランスの 52 ブランド、3 位は中国の 50 ブランド、4 位は日本の 42 ブランド、5 位は英国の 35 ブランドだった。ランキングは 49 の業界をカバーした。業界別のトップは食品・飲料品で 33 ブランドが選ばれ、2 位は自動車・自動車部品の 32 ブランド、3 位はエネルギーの 29 ブランドだった。次に小売、インターネット、銀行、コンピューター・通信、メディアなどの業界が続いた。今年新たにランク入りしたブランドは 21 あり、その中で最も順位が高かったのは中国の金属鋳産物企業の中国五鋳で、総合ランキングの 190 位だった。(12/18 人民網)

3、100 万平方メートルの哈爾濱冰雪大世界がオープン：「世界最大の冰雪テーマパーク」である黒竜江省哈爾濱（ハルビン）市の第 26 回哈爾濱冰雪大世界が今月 21 日午前、正式に開園した。今回の冰雪大世界の面積は 100 万平方メートルで、使用された氷や雪の量は 30 万立方メートルとなっている。テーマパークのデザインや展示されている氷の彫刻と建造物には、来年 2 月 7 日から同市で開催される第 9 回アジア冬季競技大会の要素がふんだんに取り入れられており、スケールが大きく、ファンタスティックな氷と雪の祭典となっている。職人たちの知恵と汗の結晶である同テーマパークで、来園者は芸術作品のような氷や雪で作られた建造物と彫刻を至近距離で鑑賞し、その美しさを堪能することができるほか、多種多様な氷と雪をテーマにした娯楽やアトラクションを楽しむことができる。さらに、活気あふれるショーやイベントを通して、氷と雪の素晴らしさを体感することができる。(12/23 人民網)

4、上海市が医療 AI イノベーションを推進：上海市は 24 日、正式に「上海市医療 AI（人工知能）発展活動案（2025-27 年）」を発表した。活動案は AI と医療の革新的かつ深い融合をめぐり、イノベーション策源、支援プラットフォーム、応用シーン、産業発展などの 5 分野の 18 件の措置を掲げている。上海は医療資源が豊富で、AI 医療の先端技術の研究に豊富な応用シーンを提供している。活動案は、AI と臨床医療、中医薬、公衆衛生、医療管理、医療保険監督管理、薬品及び機器研究開発などの深い融合において、全領域応用シーンを構築するとしている。医療 AI イノベーション分野において、上海の医療研究開発機関はすでに早期の模索を行っている。上海市東方病院では、医療大規模言語モデル「Med-Go」の創業者で、東方病院緊急診療・重症救急医学科主任の張海涛氏が、北京の有名病院の小児科であった実例を示してくれた。患者は 2 回入院し、1 年弱の期間を経て、珍しい自己免疫疾患であることが確認された。張氏はそのカルテを「Med-Go」に入力すると、この大規模言語モデルはわずか数分で専門家が 1 年かかった診断結果を出したという。活動案は AI による新薬研究開発のアシストについて、タンパク質構造予測及びゼロからの設計、薬品ターゲット予測、薬品設計及びスマートな最適化、バーチャルスクリーニング、臓器チップなどの重要技術の研究をサポートするとしている。上海交通大学張江高等研究院で、上海交通大学自然科学研究院の洪亮教授のチームが AI 技術を使い、生命科学研究の基本的な流れに変革をもたらしている。洪氏は、「タンパク質の配列から機能に直接到達する Pro 大規模言語モデルを研究開発した。これにより、タンパク質の改造にかかる期間を数年から数ヶ月に短縮した」と例を挙げて紹介している。(12/30 科技日報、人民網)

【2024、中国が成し遂げた「突破」】

2024年8月31日まで中国の製造企業の総数は初めて600万社を超えて603万社に達し、前年末比5.53%増加した。そして、新エネ車の年間生産台数が1,000万台突破、年間宅配便取扱個数1,500億個突破、5Gユーザーが10億人突破、5G基地局が400万ヶ所以上、R&D経費が3兆3,000億元突破、そしてショートドラマ市場規模は500億元突破が見込まれる。2024年、中国は経済、科学技術、文化などの重要分野で様々な「突破」を実現した。数字が更新され、数々の「突破」が成し遂げられた背後には中国経済の好転し続ける質の高い発展があるだけでなく、こうした「突破」の一つ一つには中国式現代化がしっかりと実践されていることが反映されている。（12/27 人民網）

製造企業の増加には、以下のような3つのプラスの傾向がみられる。

- ① 中国の製造業はハイレベルになり、戦略的新興企業が増加し、中小企業が発展・拡大のポテンシャルを持つ新勢力になった。
- ② 中国の製造業は強くなっており、中国企業トップ500社のうち製造企業が半数を超える264社に達し、製造業の付加価値額は引き続き増加し、世界に占める割合が30%を超え、14年連続で世界一となった。
- ③ 中国の製造業はよりバランスの取れた構造になり、600万社を超える製造企業は規模もタイプもさまざま、あらゆる産業に分布し、産業チェーンの川上から川下へと広がっている。

【イベント】

【出展募集中】FBC 広州 2025in GIT 工業展 & Asiamold 金型展 2025年2月25-27日 広州中国輸出入商品交易会展示館

【出展募集中】FBC 深セン 2025 in ITES 工業展 2025年3月26-29日 深セン国際会展中心

*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ （工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室